

鬼首って？

1200年ほどの昔、箕岳山に大武丸という猛威を振るう蝦夷がいた。坂上田村麻呂が大武丸を打首にしたところ首が飛んだ。その地を鬼切辺(おにきりべ)と呼び、やがて鬼首になった。アイヌ語で「小さな川が集まって大きな川になる所」を意味する「オニカベツ」がやがて鬼首になった。

地名の由来は諸説あります。

地名の由来



※実際とは縮尺が異なります。運転の際は地図、道路標識をご覧ください

鬼首商店街拡大図



リゾートエリア拡大図



鬼首温泉エリア拡大図

